

第3期魚沼地域定住自立圏共生ビジョン（案） 施策単位の成果指標（KPI） 一覧

※ 素案からの変更箇所は朱書き

資料 3

事業名	第3期共生ビジョン			
	成果指標（KPI）	令和6年度 現状値	令和12年度 目標値	成果指標（KPI）目標値の設定根拠
地域完結型を目指す医療・介護・福祉の連携推進事業	人材確保に係る制度の利用件数	170件	180件	令和6年度の利用実績からの10件増加を目標として設定する。
図書館の相互利用事業	相互貸出冊数	13,117冊	13,000冊	圏域内の人口減少及び電子図書館の開始等を想定し、現状値を目標値とする。
スポーツ施設の相互利用事業	総合型地域スポーツクラブへの市外からの参加者数+自転車イベントのエントリー数	2,397人	2,900人	R8以降年間100人の増加を目指す 2,397+（100×5年）=2,897人≒2,900人
公民館講座等の相互利用事業	各市町開講講座への他市町からの参加者数	12人	50人	R12年度までに既存の連携事業や2市1町で企画する新たな連携事業の開催により、現状値より5倍程度の参加者増を見込む。
定住促進事業	高校生向け職場体験参加者数	200人	300人	現状値から1.5倍に増加させる。
産業連携事業	新規起業に係る支援補助金の交付件数（5か年合計）	17件 (R6)	100件 (R8～12)	補助事業の性質上、年度ごとの交付件数にばらつきが生じることから、目標値は5か年の累積件数として設定し、5か年合計で100件の交付件数を目指す。
圏域観光推進事業	観光入込客数	8,091,478人	9,542,000人	圏域全体の観光情報を発信することで、圏域内の入込客数の増加や滞在期間の延長が期待できる。 ・南魚沼市：3,950,000人（南魚沼市観光戦略より） ・魚沼市：1,783,000人（R6現状値の1割増） ・湯沢町：3,809,000人（R6現状値の1割増）
廃棄物処理等広域連携事業	-	-	-	-
し尿等共同処理事業	旧処理施設の処理経費（物価上昇率を考慮）を100%とした際の現処理施設の処理経費	54%	60%以下	施設修繕費の増加を考慮し、令和6年度現状値の60%以下を令和12年度まで継続させることを目標とする。
消費生活相談体制の強化事業	消費関係啓発講座への参加者数	167人	600人	消費者啓発講演会、講座を開催し広く周知をすることにより、消費者啓発講演会150人、講座450人の参加を見込む。
防災対策活動推進事業	-	-	-	-
地域公共交通連携事業	路線バス利用者数	65,732人	62,000人	「南魚沼市地域公共交通計画」の中で幹線系統の路線バス1日当たり利用者数のR11年度目標値を設定していることから、これに準じて算出し、R12年度の減少幅を94.07%と見込む。
婚活支援事業	婚活支援事業利用者数	104人	120人	定住自立圏婚活イベント：40人 各市町が実施する婚活イベント：60人 ハートマッチにいがた登録料補助：20人
子育て拠点施設の相互利用事業	施設の市町外利用者数	13,067人	13,000人	出生数の低下により少子化が急速に進行して利用者の減少が見込まれる中、各市町の相互利用の推進を継続することにより利用者数を減少させないことを目標とする。
圏域職員人材育成・交流事業	合同研修の参加者数	25人	25人	令和6年度合同研修会の検証等を行い、相互参加できる研修会でも同規模の参加人数を目指す。

(参考) 第2期共生ビジョン			
成果指標（KPI）	令和元年度 現状値	令和7年度 目標値	成果指標（KPI）目標値の設定根拠
要件の統一化が図られた制度の数	0制度	3制度	※令和6年度に事業内容を見直し
相互貸出冊数	8,290冊	17,000冊 (10,000冊)	魚沼市との相互利用が始まったばかりであるため、おおよその推計である。※令和4年度に目標値を変更
総合型地域スポーツクラブへの市外からの参加者数+自転車イベントのエントリー数	1,824人	1,984人	地方創生推進交付金事業として3年間、自転車を活用したスポーツ施設相互利用促進事業を実施することによる地域間交流の増加を見込む。
各市町開講講座への他市町からの参加者数	18人	100人	R7までに2市1町企画による独自の新鮮な連携事業を開催することにより、現状値より5倍程度の参加者増を見込む。
高校生向け職場体験参加者数	41人	110人	圏域高等学校6校1・2年生の参加割合3%を8%まで増加させる。
新規起業・事業承継、大学連携で行うセミナー等の共同開催数	0回	2回	新規起業・事業承継、大学連携の各分野ごとに年間最低でも各1回(計2回/年)の共同開催を目指すもの。
観光入込客数	9,456,966人	9,456,000人	圏域全体の観光情報を発信することにより、圏域内の観光入込客数の増加や滞在期間の延長が期待できる。また、国の施策及び各種コロナ対策等によりR元年度の観光入込客数までの回復を目指す。
-	-	-	-
し尿等処理経費	78,934千円	65,304千円	目標年の処理経費の予測経費
消費関係啓発講座への参加者数	551人	600人	消費者啓発講演会、講座を開催し広く周知をすることにより、消費者啓発講演会150人、講座450人の参加を見込む。
路線バス利用者数	103,407人	100,000人	地域公共交通網形成計画の中で、幹線交通及び地域内交通の利用者数に関する2025年（令和7年度）の目標値を設定しているため、その目標値に準じて、減少幅を96.71%と見込む。
婚活支援事業参加者数	89人	300人	R7までに婚活支援事業を実施することで現状値の2.5倍程度増加すると見込む。
施設の市町外利用者数	9,670人	10,000人	出生数の減少の中、各市町の相互利用の推進を継続し、現状維持を保つ。
合同研修の参加者数	3人	40人	R7までにワーキンググループ会議とは別に定住自立圏の合同研修会を実施する。南魚沼市20人、魚沼市10人、湯沢町10人の参加者を目標値として見込む